

【刊夕】日一十月三



日曜木
日一十月三
刊夕
日一十月三

轉ばぬ先の杖として

平支部存続の猛運動

平町は町議と辯護士が協力

政府が経費節約を名とし地の千圓以上の民事事件及び方に不意打を喰はしてある人事關係の離婚問題並に少全國六十二個所の區裁判所及び卅三個所の支部廢止はく福島地方裁判所の取扱と何れに白羽の矢を打たれてゐるのか四月一日の

發表

で詳細でな非常な不便と損害を蒙るのい宮城控訴院の管下に於ける本縣では曾て大正二年に廢止され同七年に漸く復活した中支部が悲運に立ちあはせぬかと地元の不安心ならす適々町會

招集中

の平町では十一日開會に先立ち町内辯護士側と相談會を開き伏見町長外町議から委員三名を上げ尙明十二日石城町村長支會

評議員

會を開き代表一名を推し前記辯護士代表と共に急遽上京右存続の猛運動をなすことになつたが同支部が廢止さるゝ如き事あらば東北十四ヶ支部に於て左記件數に上り一、二

地位に

ある中支部

手の筈で来る廿日頃來豊することになつたので同演は非常な活氣を呈してゐる

二校聯合學藝

石城郡永戸村の渡戸小學校並に箕輪第二小學校では去八日午前十時から兩校聯合の學藝會を開き父兄の列席ありて好評裡に午後四時過ぎ散會したと

平商業校の卒業生

平商業學校の卒業式は昨報の如く明十二日午前九時に舉行される本學期卒業生は八十四名で優等生三名無缺席者廿七名に各賞状及び賞品の授與ある筈だが氏名は左記の如く尙は卒業生の向後進學卅五名、就職希望廿六名、自家營業及び自己就業廿九名である

豊間大敷の春職着手

本月初頃から石城郡豊間村の大敷漁業は昨冬昭和五年の操業を打切り漁夫その他郷里の新編整に歸つてゐるが愈々春職着

平町三國小學校の

小選手の學藝の彩

何れも見事なる百五十名

平町三ヶ小學校の聯合學藝三千八百名の生徒から挙げられた小選手約百五十名の試みとして昨十日午前唱、對話十時半から第一小學校講堂に於て開催された

緑川莊吉、鳴原勇、八見四郎、鈴木正好、鈴木健太郎

▲其他の卒業生石川正衛、西野熊夫、新妻秀太郎、星野嘉久治、外村武夫、富森健一、渡邊好雄、渡邊昇、渡邊清、渡邊三千雄、若松政一、笠原三男、片寄一二、金賀文彦、賀政江、吉野義美、吉成、武田善之助、高萩仁平、高橋清之助、田山房一、齒部萬年、根本正弘、根本勝美、根本寅男、長瀬修造、村山政一、上田滿、宇佐美武之、大井川宗平、大津賀清吉、小澤政二、小野廣、大谷誠、大木茂、岡部保之、隈川幸夫、馬目晴夫、小松一、遠藤喜平、佐々木正直、佐藤正平、佐藤文吾、酒井三男、北林太一、木田繁雄、三森峯、白土七之助、柴崎泰次、島田鷹四郎、流谷光哉、森田正光、諸橋嘉一、鈴木忠雄

小名濱港

來る十三日

會の講演

平町十三日會では來る十三日の例會を午後七時から同片寄一二、金賀文彦、賀政江、吉野義美、吉成の筈だが今回の講演は左記の如く地方にとつて關係深平、高橋清之助、田山房一、齒部萬年、根本正弘があるであらうと

築港

同町に見られな

が少なくない殊に從來抑揚もあり參觀の父兄達が教育される様な感に打たれたが右三ヶ小學校の優秀なものを上ぐれば左記の如くである

賛否兩者論戰の末

修正案可決の模様

情實を去れば妥當な削減

結局十六對十四位の處で

平町新豫算の修正は昨報の如く今十一日午前十一時本決されるであらうと觀測議に移つた例によつて決

鹿島村軍人會

の陸軍記念日

湯本町教育主

催の通俗講演

鐵骨火見建設

村有編入

内郷武德殿

圓苑を補助

每年百二十

村有編入

圓苑を補助

每年百二十

村有編入

圓苑を補助

每年百二十

村有編入

圓苑を補助

每年百二十

村有編入

圓苑を補助

每年百二十

村有編入

圓苑を補助

每年百二十

村有編入

圓苑を補助

抑揚もあり參觀の父兄達が

教育される様な感に打たれたが右三ヶ小學校の優秀なものを上ぐれば左記の如くである

題して

吾々が日常

行はねばならぬ挨拶又は他

から道を尋ねられた等の場

合これを親切に告げること

が容易な事でも實行されて

居ないと云ふ様な

例を上 げた話振り

は讀方口調がとれて相當の

賛否兩者論戰の末

修正案可決の模様

情實を去れば妥當な削減

結局十六對十四位の處で

鹿島村軍人會

の陸軍記念日

湯本町教育主

催の通俗講演

鐵骨火見建設

村有編入

内郷武德殿

圓苑を補助

每年百二十

村有編入

圓苑を補助

每年百二十

村有編入

圓苑を補助

每年百二十

村有編入

圓苑を補助

每年百二十

村有編入

圓苑を補助

每年百二十

村有編入

圓苑を補助

每年百二十

村有編入

圓苑を補助

七九圓(四二九一)公園費
一一九圓(一〇一九)職
業紹介所二〇四七圓(二
一三六)救助費三〇〇圓
(二〇〇)豫備費五二二三
圓(五三三)

▲第一部席書第三小學校
尋二生松惣兵衛、お話言
易い言葉第二小學校尋五
生佐々木春子、兒童劇兵
隊遊び第一小學校尋二生
宮本武雄外十七名
▲第二部唱歌席書旅順開
城第一校尋五生柴和雄外
廿二名、唱歌子守唄第二
校尋一内關内ます外一名
唱歌玩具のマーチ兵隊
つこ第三校尋一生活尻朝
子外數名(以上)

▲歳入財産より牛する收
入二八四一圓(三四八三)
交付金五一〇七圓(五一
三一)就學奨励金八〇圓
(一〇〇)縣補助二三九九圓
(二四九九)財産賣却二〇
九六圓(一一九一)町税
四七八〇圓(五七〇
七七)▲歳出會議費八九
〇圓(二四〇)役員費二
八四六圓(三一九九)
第一校費二六三三九圓
(二八四七三)第二校費二
六八七七圓(二八七三二)第
三校費一三三七八圓(一
五〇八九)商業校費二〇
四九二圓(一一三八)學事
諸費一〇〇圓(七〇)虎眼
豫防費一〇五五圓(一
一四九)傳染病院費三四

石城郡内郷村では去月末の
村會に於て同村大字綴方部
の有志を主として建設され
た武德殿を村有に編入し同
村武德會に對して毎年の補
助額を協議の結果百廿圓宛
を支出することに決したと

石城郡内郷村の宮火防組で
は此程來各事業基金を募集
してゐたが内金三百圓を以
て火災警防の爲め字平太郎
地内に鐵骨火の見櫓を建設
することになつたと

石城郡鹿島村の在郷軍人分
會では昨十日の陸軍記念日
に於て午前十時から同村七
本松に建設する忠魂碑前に
一同の參拜を行ひ餘興とし
て當夜活動寫眞を一般に無
料觀覽させた

石城郡湯本町の教育會では
來る十三日午後一時から同
町小學校に通俗講演會を賜
催し福島市教育新聞社作山
美八氏を招き講演をなすと

石城郡湯本町の教育會では
來る十三日午後一時から同
町小學校に通俗講演會を賜
催し福島市教育新聞社作山
美八氏を招き講演をなすと

石城郡湯本町の教育會では
來る十三日午後一時から同
町小學校に通俗講演會を賜
催し福島市教育新聞社作山
美八氏を招き講演をなすと

石城郡湯本町の教育會では
來る十三日午後一時から同
町小學校に通俗講演會を賜
催し福島市教育新聞社作山
美八氏を招き講演をなすと

石城郡湯本町の教育會では
來る十三日午後一時から同
町小學校に通俗講演會を賜
催し福島市教育新聞社作山
美八氏を招き講演をなすと

石城郡湯本町の教育會では
來る十三日午後一時から同
町小學校に通俗講演會を賜
催し福島市教育新聞社作山
美八氏を招き講演をなすと

石城郡湯本町の教育會では
來る十三日午後一時から同
町小學校に通俗講演會を賜
催し福島市教育新聞社作山
美八氏を招き講演をなすと



桐の栽培 (二)

農家の空地 利用に得策

斯して越冬したならば四月中旬頃に取出して用意してある苗畑に畦二尺五寸、株間一尺五寸位に真直ぐに挿植し上部には五分から一寸位土を覆ひ、發芽したならば最も丈夫そうなものを殘し他は皆除去するのがよい挿方は斜めにしてもよいがさうすると發芽の数が多くなる傾向がある、肥料としては挿植の時に堆肥、木灰、ト肥等を元肥として施し梅雨過ぎに二回乃至三回下肥の薄めたものを追肥として施し除草等を怠らなければ秋までには芽が充分伸びて高さ四五尺になり翌春本圃に植付けることが出来る様になるから落葉するのを待つて掘り出し根を四、五寸に切り更に深目に假植して置くのである、此の際切根を四、五寸に刻み翌年の苗仕立用に供する、かくの如くして發育不良なものは更に秋に床替へをなし尚ほ一ヶ年肥培すれば大低立派な苗になるものです、
植付は春の彼岸から四月の中下旬に於ける芽の餘り並びにうちに栽植するのであるが植穴は大きく掘つて根を平等に配つて栽植する様にせねばならぬ

冬物入荷 山澤荷

山澤荷 冬物入荷

伊関呉服店

元話 G.H.N. スペイン
葡萄酒 甘味
ゴルフポトワイン
¥ 1.10
御婦人の方には少し水を加へて召し上るご風味一そう佳良です
(西村屋薬舗 (三))

驚異的の効果を有する婦人薬
座薬 美神丸
内服薬 美神湯
婦人病に悩む方々に一度は實驗を勧めむ
町代理店 平町五丁目角
山野邊薬局

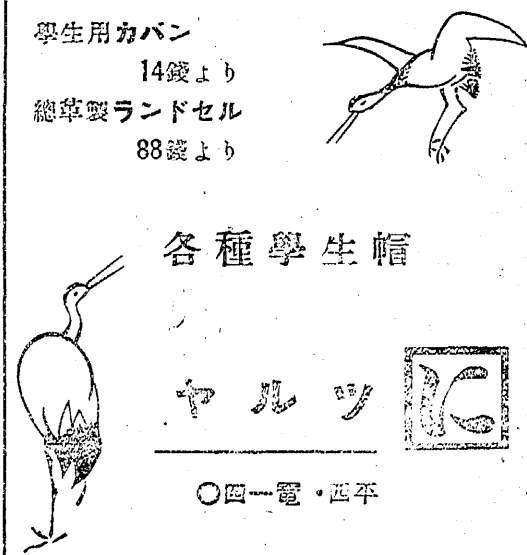
藤田女學校生徒募集
(1) 本 科 五十名
(2) 裁縫専修科 百名
(3) 師範科 三十名
(4) 専攻科 二十名
(5) 本科、裁縫科第二學年補欠 若干名
右希望者ハ至急願書提出ノコト詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ
昭和六年三月
福島縣平町町
文部大臣 藤田女學校
認 可
電話三三八番

模範 裁縫
高島屋の洋服
平町駅前 電話三三六番
既製部
オーバー
五圓から
卅圓まで
二重廻し
七圓以上
注文部は各種破格の勉強



第卅 産婆看護婦 生徒募集
三回 卒業年限 兩科ヲ通ジテ一ヶ年
一入學資格 高等小學卒業又ハ同等以上ノ學力有ル者へ無試驗入學ヲ許ス
一申込期間 四月八日迄
平町一丁目 (電話三五七番)
石城 産婆看護婦學校
校長 應崎千代

吾等のサロン
高いと云ふ噂があります
安からう
悪からう
一番ウマイと云ふ自信があります
平町町 サロン
電話三五二番



價を低く 質を高く
山崎會社の
味噌醬油
正宗
鐘詰鯉節
山崎會社
電話 醸造部 二七番
營業部 一〇番

諸毒下シの大妙藥
安流丸
持約 山崎會社
モリタヤ洋品店
5丁目電353

カバンと學帽
學帽は十五錢より
カバンも勿論格安品計りです
モリタヤ洋品店
5丁目電353

御進物には 商品切手
山崎會社
電話 醸造部 二七番
營業部 一〇番